

富士宮西ロータリークラブ会報

Rotary



石川 俊洋会長

国際ロータリークラブ第2620地区 2024-2025年度
RI会長 ステファニー A. アーチック
会長 石川 俊洋 幹事 大谷 裕也

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間
事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘805 富嶽温泉 花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>
TEL.0544-28-1126 FAX 0544-25-8182 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

No.36 通算 1607 号 2025 年 6 月 13 日(金)

♪Rotary Songs 我等の生業

ゲスト・ヴィジター

無し

会長挨拶

会長： 石川 俊洋 君

6月に入り今年度の例会も今日を含めて、あと3回となりました。1年間皆様にはご協力を頂き大変感謝申し上げます、ありがとうございました。

富士宮西ロータリークラブが、創立35周年を迎えた年の会長を務めさせていただき本当に光栄でありがたい気持ちでいっぱいです。私は父親が西ロータリークラブに所属させていただいておりましたので、ロータリーの事を少しは解っているつもりでいましたがやはり、見ると聞くとは大違い、やることは山ほどあり、例会も毎週あるし最初は一歩、一歩で大変でした。この会長挨拶も毎週ネタを探すのにも大変苦労しております。私の父親も会長を務めさせていただくことが決まってからパソコン教室に通い始めワードの文章なら何とか打てるようになっていました。家や会社では本当に昭和の男で、威張り散らしていましたが苦手なことにも挑戦して責任感が強い努力家だったのかなと今は思います。

さて、私も本当に何もわからず会長を拝命し何とか1年皆様のおかげでやってこられました。しかしメンバーの減少には歯止めをかけることができず、もう少し頑張らかったと感じています。1年を振り返っての反省は後ほど発表させていただきますが、今後の西クラブの課題としてはやはり

会員増強であり、少しでも若いメンバーと、女性メンバーの加入だと思います。今のご時世ですのではなかなか新しいメンバーの加入を考えると大変なことだと思いますが、皆さんの仕事関係や取引先などで『この人は！』と、ピンとくる人がいたら声をかけてみましょう。私もまだ成功していませんが「あ、この人！」と思った人に「ねえ？ロータリー入らない？」から始めクラブについてひと通り話してみます、もう何名かお話はしましたが入会までにはいたっていませんが可能性は、無くはないのでまたしばらく経ったら話に行こうと思っています。

自分の仲のいい友人が同じクラブで活動できるなんて楽しいと思いませんか？

次年度は、会員増強で頑張りたいと思います。

幹事報告

幹事 大谷 裕也 君

*別紙幹事報告書参照

出席報告

	会 員 数	計算会員 数	出席	欠席	M U	比率
今 週	18	16	14	4	0	87.5%

欠席者：※外木規之君、※堀水東志夫君、近藤憲司君、
近藤千佳さん

本日のお祝い

夫人誕生日 加藤公満子さん(康雄夫人、6.17生)

【会報委員会】

委員長：加藤康雄

委員：片岡博昌

渡邊奈津実

近藤千佳

スマイル

○次年度もよろしく…片岡博昌君

○妻の誕生日も近く、今期も後少し …加藤康雄君

○今年度もあと2回ですね。

ラストスパートです！…石川俊洋君

○貫名さん、卓話よろしくです …若林眞治君

会員卓話

「ミャンマー地震について」 貫名 英舜 君



今年の3月28日、ミャンマーでM7.7の大地震が発生した。震源のマンダレー地区では多くの建物が倒壊した。古都マンダレーは古い由緒のある寺院が多くあり、多くのお坊さんや尼さんの学生が修行している。

マンダレーの面識のある僧

侶に翌日 Mail を送り、寄付支援を申し出た。シンガポールのミャンマー寺院に送金し、そこで救援物資を仕入れてミャンマー国内に持ち込んでもらうことにした。

首都チュピトンと一家、そして、経営する「静岡日本語学校」は首都ヤンゴンにある。地震後、messenger が回路回復した時点で、富士宮西 RC のみんながあなたのことを心配している」と無事を尋ねた。地震の影響はヤンゴンでは比較的軽微で、娘ハルと夫バベンテ君、弟と両親ともに無事であることが確認できた。IN の回線が復旧したら、学校の業務も復活したいということであった。

地震後、中国、ロシアの救援隊に続いて各国の救援隊が駆けつけ、先に入っていた国連難民高等弁務官事務所が仕切る中で救援が始まった。また、野外に非難した人々の為に路上にテントを張って一時しのぎができるようにした。

医療サービスについては、赤十字・赤新月結社連合が指揮を執り、キリスト教系・イスラム系の国際的な医療支援が展開され、また、仏教寺院が場所や建物を提供するなどが行われた。

ミャンマーは2021年の軍事クーデター以来、この軍事政権に反対をする民主化勢力とともにミャンマー軍に反目していたシャン、モン、ラカインなどの少数民族抵抗勢力が地方に割拠していて、軍政府の権力が及ばない。これらの地域における被害状況は不明で

あり、外国特派員の取材もできず、さらには支援物資の輸送を妨害するなどの不都合が出ている。少なくとも死者5,000人強で済むはすがなく、倍近くは確実に存在する。

ロータリーは地震発生直後会員から募金を徴収し、多分、ミャンマーに設けた国連難民高等弁務官事務所の活動資金として提供したものと思われる。食料などの物資支援の手配、シェルターの設置の他に子どもの教育の機会を与えるための支援、また、不条理に遭遇したことで傷ついたところの癒やしという心理社会的支援のむ遂行を応援する資金として使われているのではないかと思う。

日本の東日本大震災とは異なる国連主導の支援によって、国内に内戦というリスクを抱えながらも立ち直りを図っている。ミャンマーはウ・タント国連事務総長の故国である。

パスト会長会

6月16日（月）ベルポームジロー（若の宮町）にてパスト会長会が行われました。11名の参加でした。

